

「市役所のおでかけトーク」の開催結果について

1 参加人数

月 日	対象地区	会 場	参加人数
5 月 25 日(火)	相良・福岡	相良史料館	4 2
28 日(金)	細江	細江コミュニティセンター	1 0 0
6 月 22 日(火)	大沢・菅山	相良史料館	8 8
25 日(金)	坂部	坂部区民センター	5 0
29 日(火)	地頭方	トーク地頭方	1 0 2
7 月 2 日(金)	静波	静波コミュニティ防災センター	1 1 0
7 日(水)	大江・片浜	片浜コミュニティ防災センター	5 0
9 日(金)	川崎	川崎コミュニティ防災センター	5 4
13 日(火)	勝間田	勝間田会館	7 1
15 日(木)	波津・須々木	相良総合センター い~ら	7 8
20 日(火)	萩間	萩間公民館	5 3
23 日(金)	牧之原（榛原地域）	牧之原コミュニティセンター	4 2
合 計			8 4 0

2 市長による説明内容

- ・平成 22 年度予算、財政状況（歳入・歳出の概要、主要な事業、市債残高など）
- ・榛原総合病院（指定管理者移行後の運営体制、財政支援の状況など）
- ・（仮称）自治基本条例の策定（取り組み状況など）
- ・消防救急業務の広域化（広域化の枠組み、今後の方針など）

3 代表的な意見・質問（質問票：79 枚）

- ・消防救急業務の広域化（広域化による体制、今後の方針、消防署所の設置など）
- ・榛原総合病院（運営体制、運営状況、診療体制、財政支援の内容、講演会など）
- ・子育て支援、少子化対策、行政改革（財政改善、庁舎の統廃合）など

4 アンケート結果（回答者総数：562 人）

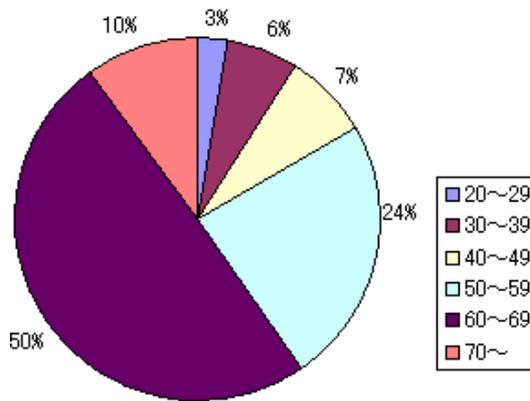
- (1) 性別（回答者 560 人） 男性 383 人(68%)、女性 177 人(32%)
- (2) 年齢（回答者 560 人）
 20代 16 人(3%)、30代 36 人(6%)、40代 41 人(7%)、50代 133 人(24%)、
 60代 278 人(50%)、70代以上 56 人(10%)
- (3) 参加回数（回答者 555 人）
 毎年 137 人(25%)、2 回目 110 人(20%)、3 回目 84 人(15%)、4 回目 32 人(6%)
 初回 192 人(34%)
- (4) 市の取り組み、課題（回答者 533 人）
 よく分かった 80 人(15%)、分かった 253 人(47%)、ふつう 174 人(33%)、
 分からなかった 26 人(5%)
- (5) 地区が希望した市政内容についての説明（回答者 516 人）
 とても良かった 40 人(8%)、良かった 189 人(37%)、ふつう 230 人(44%)、

良くなかった 57人(11%)

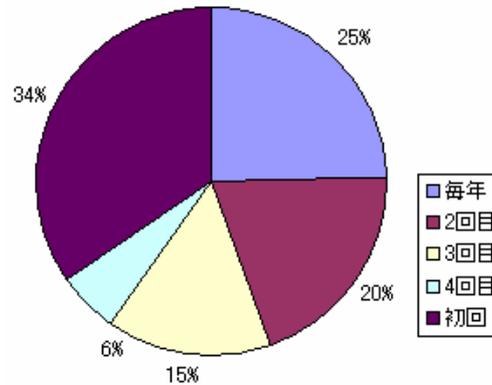
(6) 質問票による意見交換 (回答者 453人)

とても良かった 25人(5%)、良かった 184人(41%)、ふつう 226人(50%)、良くなかった 18人(4%)

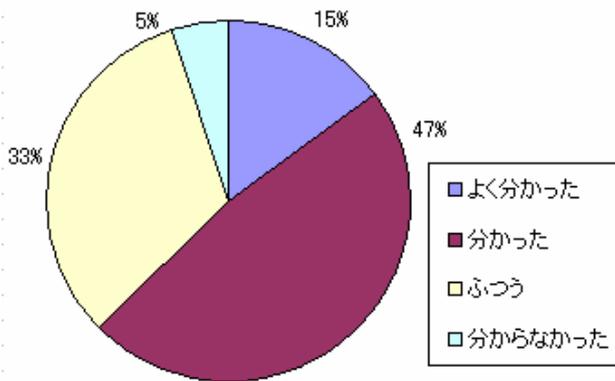
(2) 参加者年齢層



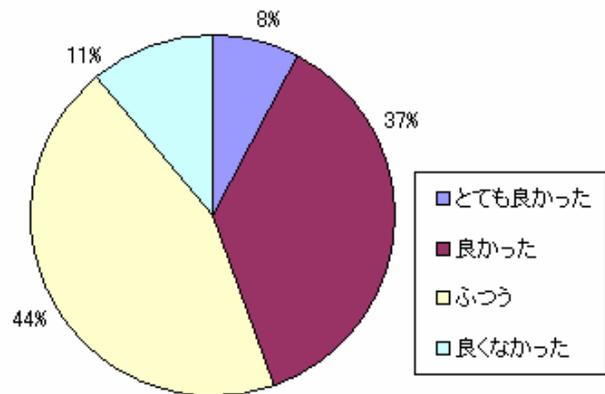
(3) 参加回数



(4) 市の取り組み、課題

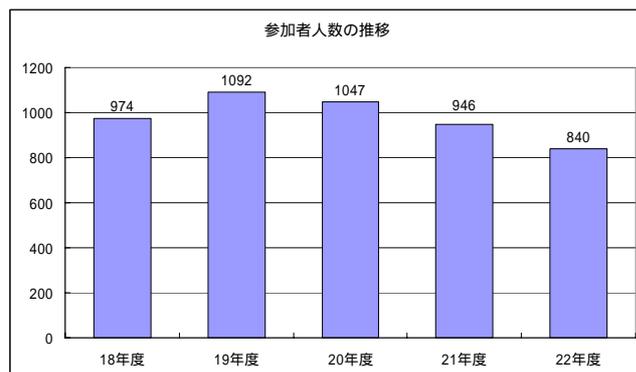


(5) 地区が希望した市政内容についての説明



5 参加人数の推移

年度	人数
18年度	974人
19年度	1,092人
20年度	1,047人
21年度	946人
22年度	840人
合計	4,899人



6 課題

- ・参加人数は、前年度に比べて1割程度の減少となった。
- ・参加者の年齢は50代以上が84%を占めた。一方、30代以下は9%にとどまった。
- ・初めての参加者が34%と最多だが、前年度よりも41人減少した。毎年の参加者は前年度よりも89人の減少となった。
- ・市の取り組みや課題については、「よく分かった」、「分かった」が半数以上に上った。
- ・初めて実施した「地区が希望した市政内容についての説明」については、「とても良かった」、「良かった」が45%で、一定の評価を得た。